

# ひとつ、ひとつ、実現する カーボンニュートラル

一人一人が  
できることから  
始めよう！

県では、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて「福島県二〇五〇年カーボンニュートラルの実現に向けた気候変動対策の推進に関する条例」を令和6年10月に新たに制定しました。

未来の子どもたちに、安心して暮らすことのできる環境を継承するため、オール福島で気候変動対策に取り組みましょう！

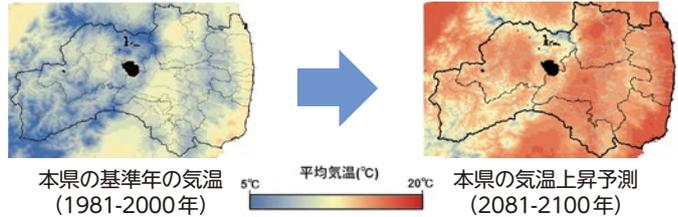
## 「カーボンニュートラル」とは？

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。

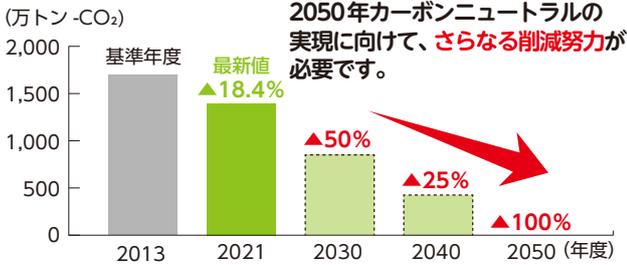
## 将来の福島県の気温予測

福島県内の平均気温は、温室効果ガスの削減努力がなされなければ、21世紀末ごろには、**約4.4℃上昇**する（基準：1981-2000年）と予測されています。

出典：福島大学「福島県の気候変動と影響の予測」（令和5年3月）



## 福島県の温室効果ガス排出量の削減目標



## 福島大学の学生の皆さんと一緒に考えました！



## 若者世代が思い描く「カーボンニュートラルが実現した未来」

私たちの暮らしの中で、省エネの徹底や再エネ・水素の利用、自然災害への備えなどが当たり前になっている2050年の福島県をイメージしたものです。

## 2050年は、こんな未来！



イラスト：母心・関あつし（漫才師、イラストレーター）

# カーボンニュートラルの実現に向けた具体的な取り組み

2050年カーボンニュートラルを実現するためには、省エネの徹底や再エネの利用促進などの「緩和策」と、熱中症対策を始めとした「適応策」を両輪として、オール福島でさまざまな取り組みを進める必要があります。

条例の全文はこちら



## 緩和策（温室効果ガスの排出量を減らす取り組み）

### 日常生活

- 電気、ガス明細のチェック
- 省エネ家電の使用
- エシカル消費
- 環境に優しい商品・サービスの選択 など



### 交通および自動車使用

- 公共交通機関、自転車の利用
- エコドライブの実施
- 物流の効率化
- 再配達削減
- 電気自動車などの購入、充電設備の設置 など



### 建築物

- 窓や壁の断熱化
- 太陽光発電設備の設置
- 木造化、木質化
- 県産材利用 など



### 事業活動

- 温室効果ガス排出量の見える化
- 省エネの推進
- 働き方の転換 など

### 廃棄物

- ごみの発生の抑制
- ごみの分別、資源の再生利用 など



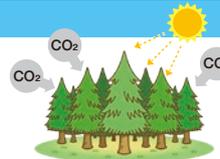
### 再生可能エネルギーなどの利用

- 再エネの利用促進、地産地消
- [再生可能エネルギー設備などの設置者] 自然環境の保全、良好な生活環境の確保
- 水素の実用化の促進 など



### 森林整備など

- 森林の整備・保全
- 再造林の推進
- 建築物や敷地の緑化 など



## 適応策（気候変動による影響に備える取り組み）

- 適応策に関する情報の収集、実践 など
  - 農林水産業：品種改良などの食料供給の確保に関する対策
  - 自然災害：水害、土砂災害などの被害の防止・軽減策
  - 健康：熱中症、感染症などの予防策 など



## 皆さんの暮らしの豊かさにもつながります。

省エネ家電への買い換え	太陽光発電設備の設置	ごみの削減 分別・3R
 CO <sub>2</sub> 削減効果 約180kg/世帯 節約額 約19,000円	 CO <sub>2</sub> 削減効果 約920kg/世帯 節約額 約53,000円	 CO <sub>2</sub> 削減効果 約30kg/世帯 節約額 約3,800円
参考：環境省「デコ活ポータルサイト」		

イラスト出典：環境省「ゼロカーボンアクション30」、気候変動適応情報プラットフォーム

脱炭素アクションを行って、県産品が当たる抽選に応募しよう！

# ふくしま 脱炭素アクションキャンペーン

キャンペーン期間  
2月28日(金)まで

- ①「福島県環境アプリ」をダウンロード
- ②脱炭素につながる5つの行動（＝脱炭素アクション）を実施し、対象店舗に設置している二次元コードを読み取りポイントをゲット

県産品の購入	食品の食べ切り 使い切り	レジ袋辞退 (マイバッグ持参)
宅配ロッカーの利用	電気自動車などのレンタル	

- ③貯まったポイントで抽選に応募

賞品例

松川浦かけるあおさ	福島りょうぜん漬
-----------	----------

【お問い合わせ】  
**ふくしま脱炭素アクションキャンペーン事務局**  
 TEL：054-275-2666  
 （受付時間 平日午前10時～午後5時）  
 Mail：fukushima-eco@locoguide.co.jp

キャンペーンの詳細はこちら



## 令和6年度 ふくしまカーボンニュートラル実現会議総会

[詳細はこちら](#)

「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」は、福島県2050年カーボンニュートラルの実現に向け、県民、民間団体、事業者、行政などが、オール福島で連携して取り組むことを目的として、令和5年6月に設置されました。(令和6年12月現在：219団体、学識経験者5名が参画)  
令和6年12月9日(月)に福島市で開催した令和6年度総会の様子を紹介します。



### 第1部 総会

#### ●ふくしまゼロカーボンアワード2024（事業所版）表彰式

賞	部門	受賞事業所名
最優秀賞	産業	NECプラットフォームズ株式会社 福島事業所
	運輸	株式会社デイリーサービス
	民生業務	HEART計画株式会社 御とめ湯り
優秀賞	産業	日産自動車株式会社 いわき工場
	民生業務	株式会社東邦銀行
特別賞（適応分野）		相馬野馬追執行委員会



表彰式の様子（受賞者集合写真）

#### ●トークセッション

HEART計画株式会社 御とめ湯り 加藤 貴之 代表取締役

- ・無駄をなくし、さらなる効率的な経営を進める中で、様々な取り組みが生まれた。
- ・大切なのは「減らす」と「創る」こと。この2つの取り組みを地道に民間レベルでも進めていくことが、世界的なSDGsやカーボンニュートラルにつながる。

国立大学法人福島大学 共生システム理工学類 川越 清樹 教授

- ・温室効果ガス自体の寿命は、おおよそ50年から200年。若い世代への負債になってしまうため、このまま放置するわけにはいかない。
- ・カーボンニュートラルの実現には「続けること」が一番重要。楽しく継続できる工夫をしながら、緩和策にも適応策にも取り組む必要がある。

#### 内堀知事

- ・まずは「知る」こと、その上で考えて「自分にできることから行動する」こと。この継続と、この輪を広げていくことが、カーボンニュートラルの実現につながる。
- ・未来の子どもたちのために今を生きる我々が何をできるか、その決意が大事。危機意識と希望の両方を持って、また明日から取り組みを進めてほしい。



トークセッションの様子（左から、内堀知事、加藤代表、川越教授）



講演の様子

### 第2部 講演

#### 演題 カarbonニュートラルの世界的潮流と地域脱炭素における福島県への期待

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 吉高 まり フェロー

- ・社会課題解決のため、企業や金融機関にとって、カーボンニュートラルは非常に重要なコミュニケーションツール。中小企業にも対応が求められる。
- ・地域でのカーボンニュートラルの実現に向けては、あらゆる関係機関と一緒に取り組む必要がある。その中で、地域の金融機関の役割は大きい。
- ・実現会議が一つのエンジンとなって、県全体で、GXの新たな波の中で産業を興していくような、これまでとは違う福島県の姿を期待したい。

#### 「GX」とは？

グリーン・トランスフォーメーションの略語。  
化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のことです。

自然災害の激甚化・頻発化や猛暑による農作物の被害など、地球温暖化は私たちの生活に深刻な影響をもたらしており、今の瞬間も進行しています。

この危機に立ち向かうため、県では、「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」を立ち上げ、昨年10月には、カーボンニュートラルを推進するための新たな条例を制定するなど、オール福島による取組を進めています。

安心して暮らすことのできる環境を将来世代に引き継ぐためには、私たち一人一人の行動、アクションが重要です。皆さんも是非、カーボンニュートラルの実現に向け、今できることから取り組んでいきましょう。

### 知事メッセージ

— Message —

一人一人のアクションで  
2050年カーボン  
ニュートラル実現へ

福島県知事 内堀 雅雄

